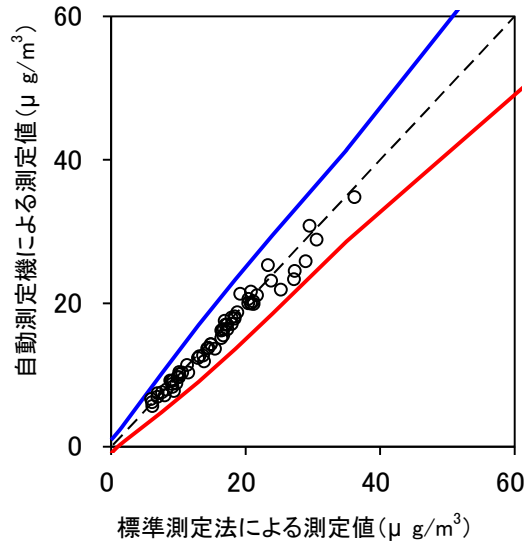


⑨ SHARP 5030 (Thermo Fisher Scientific)

A: グループごとに P_R を最大化する方法

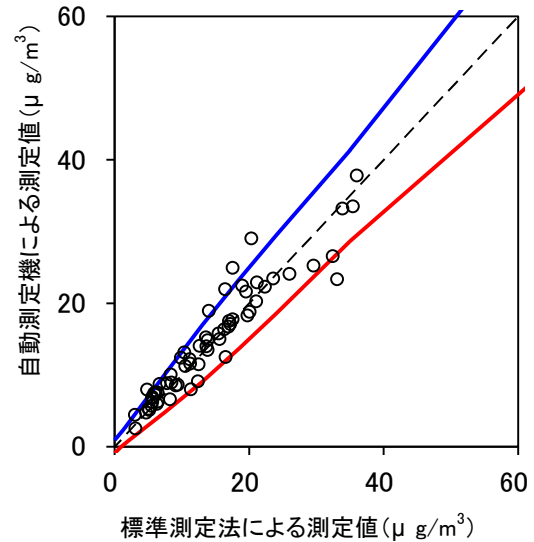
グループ 1 による評価

機種名	SHARP5030・夏季
有効測定日数	72
自動測定機の有効データ数	63
ハズレ値の個数	0
r	0.9
K	1.823
傾き	0.95



SHARP5030の夏季における管理限界線との関係

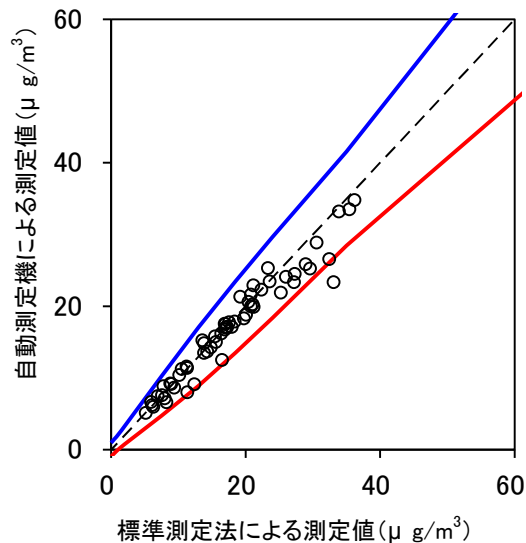
機種名	SHARP5030・冬季
有効測定日数	70
自動測定機の有効データ数	62
ハズレ値の個数	6
r	0.9
K	1.816
傾き	0.90



SHARP5030の冬季における管理限界線との関係

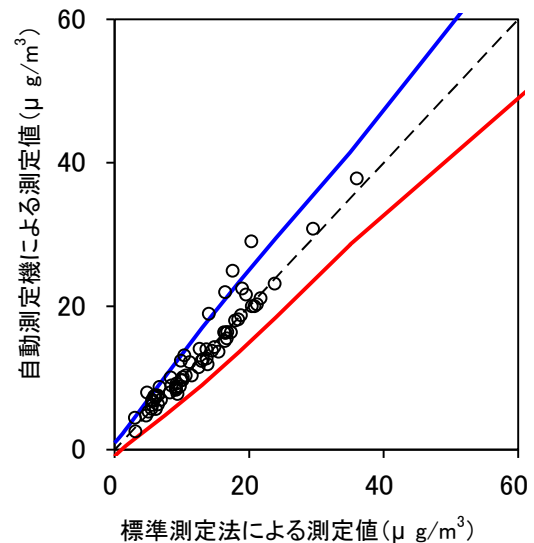
グループ 2 による評価

機種名	SHARP5030・都市部
有効測定日数	73
自動測定機の有効データ数	60
ハズレ値の個数	1
r	0.8
K	1.875
傾き	0.88



SHARP5030の都市部における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・非都市部
有効測定日数	69
自動測定機の有効データ数	65
ハズレ値の個数	5
r	0.9
K	1.838
傾き	1.03



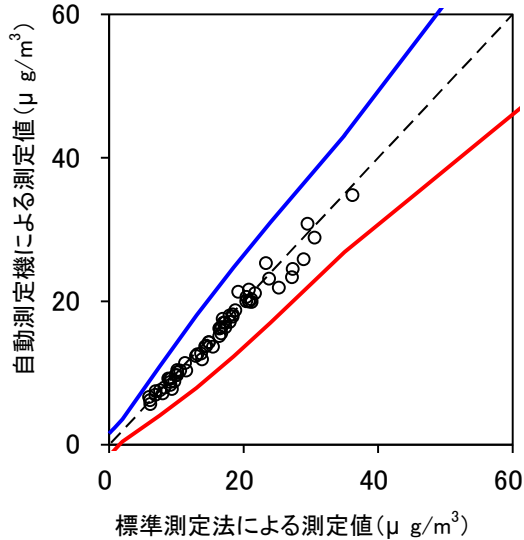
SHARP5030の非都市部における管理限界線との関係

B : グループごとに P_R を固定する方法

(1) $\alpha = \alpha'_1$ の場合

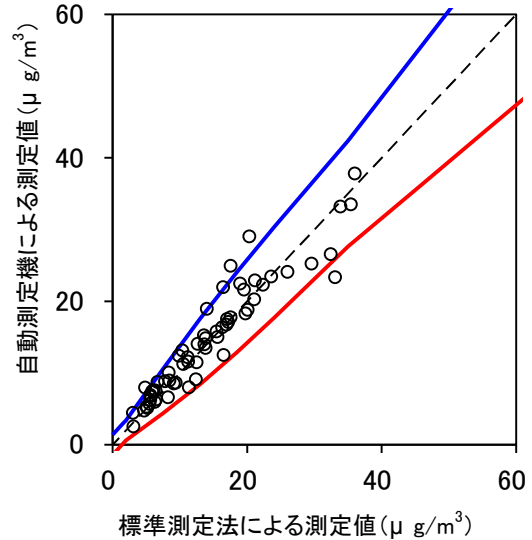
グループ 1 による評価

機種名	SHARP5030・夏季
有効測定日数	72
自動測定機の有効データ数	63
ハズレ値の個数	0
r	4
K	2.328
傾き	0.95



SHARP5030の夏季における管理限界線との関係

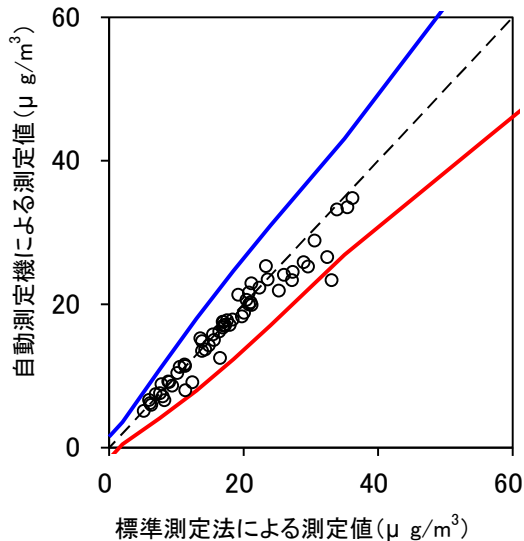
機種名	SHARP5030・冬季
有効測定日数	70
自動測定機の有効データ数	62
ハズレ値の個数	6
r	6
K	2.107
傾き	0.90



SHARP5030の冬季における管理限界線との関係

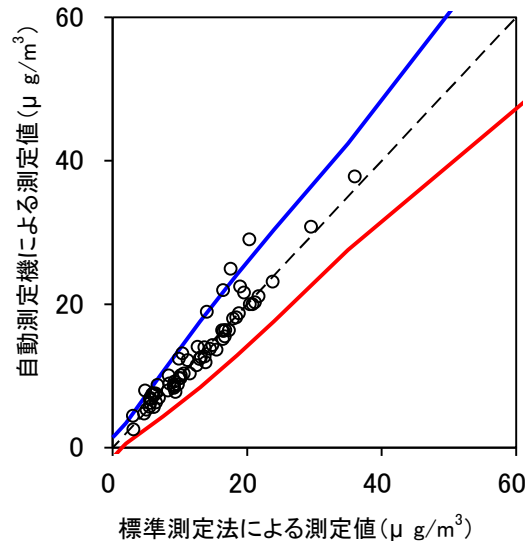
グループ 2 による評価

機種名	SHARP5030・都市部
有効測定日数	73
自動測定機の有効データ数	60
ハズレ値の個数	1
r	4
K	2.317
傾き	0.88



SHARP5030の都市部における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・非都市部
有効測定日数	69
自動測定機の有効データ数	65
ハズレ値の個数	5
r	6
K	2.123
傾き	1.03

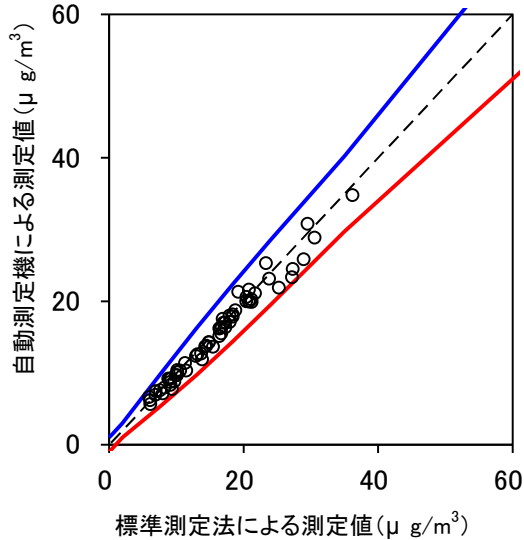


SHARP5030の非都市部における管理限界線との関係

(2) $\alpha = \alpha'_2$ の場合

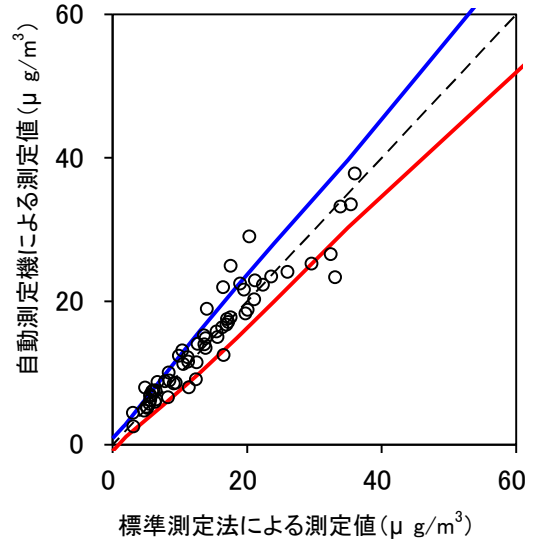
グループ 1 による評価

機種名	SHARP5030・夏季
有効測定日数	72
自動測定機の有効データ数	63
ハズレ値の個数	0
r	15
K	1.503
傾き	0.95



SHARP5030の夏季における管理限界線との関係

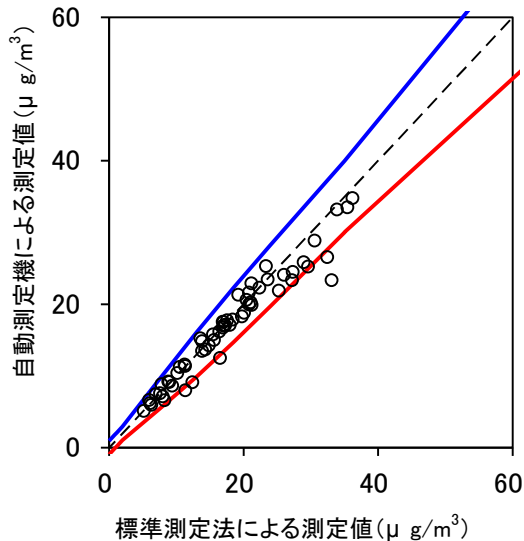
機種名	SHARP5030・冬季
有効測定日数	70
自動測定機の有効データ数	62
ハズレ値の個数	14
r	18
K	1.346
傾き	0.90



SHARP5030の冬季における管理限界線との関係

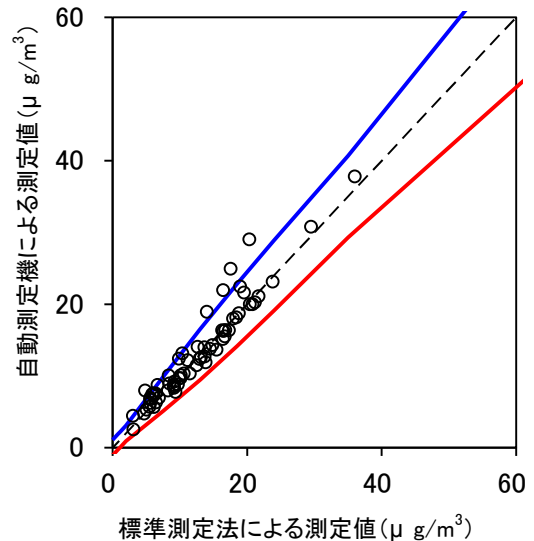
グループ 2 による評価

機種名	SHARP5030・都市部
有効測定日数	73
自動測定機の有効データ数	60
ハズレ値の個数	5
r	16
K	1.423
傾き	0.88



SHARP5030の都市部における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・非都市部
有効測定日数	69
自動測定機の有効データ数	65
ハズレ値の個数	6
r	13
K	1.627
傾き	1.03

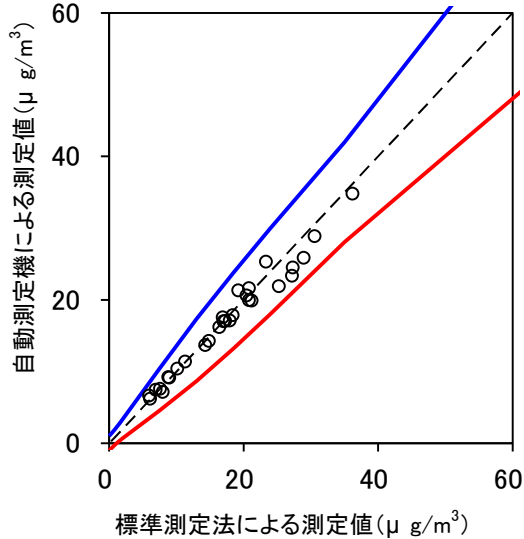


SHARP5030の非都市部における管理限界線との関係

C: フィールドごとに P_R を最大化する方法

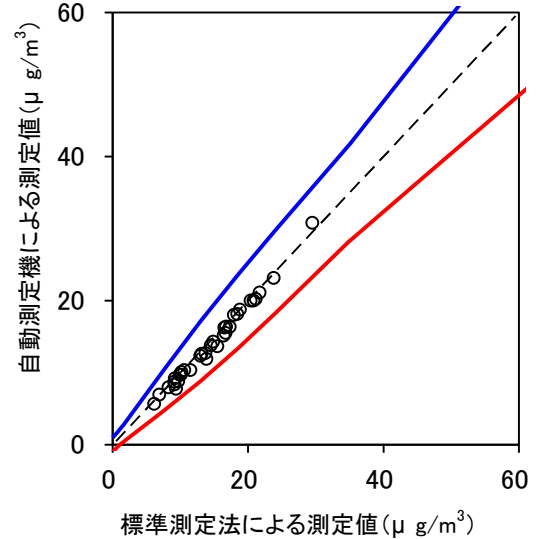
フィールドごとによる評価

機種名	SHARP5030・都市部(夏)
有効測定日数	37
自動測定機の有効データ数	29
ハズレ値の個数	0
r	4
K	1.992
傾き	0.90



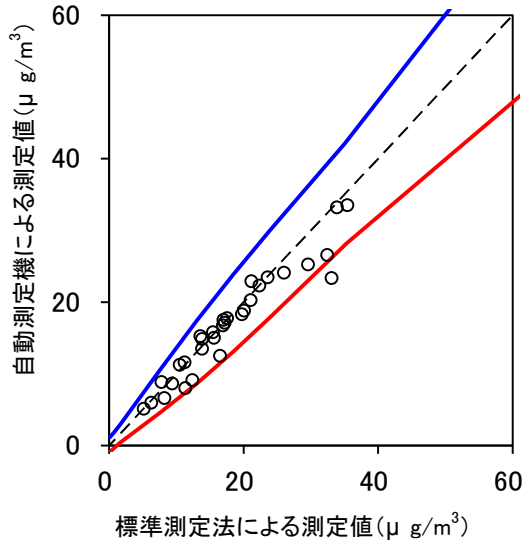
SHARP5030の都市部(夏)における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・非都市部(夏)
有効測定日数	35
自動測定機の有効データ数	34
ハズレ値の個数	0
r	5
K	1.917
傾き	1.02



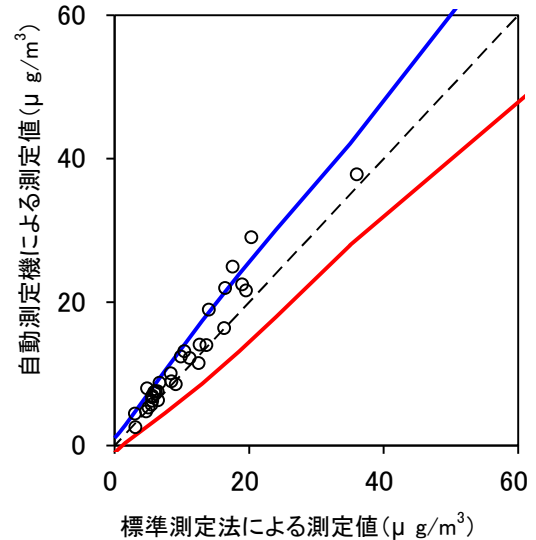
SHARP5030の非都市部(夏)における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・都市部(冬)
有効測定日数	36
自動測定機の有効データ数	31
ハズレ値の個数	1
r	4
K	2.022
傾き	0.86



SHARP5030の都市部(冬)における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・非都市部(冬)
有効測定日数	34
自動測定機の有効データ数	31
ハズレ値の個数	5
r	4
K	2.022
傾き	1.14



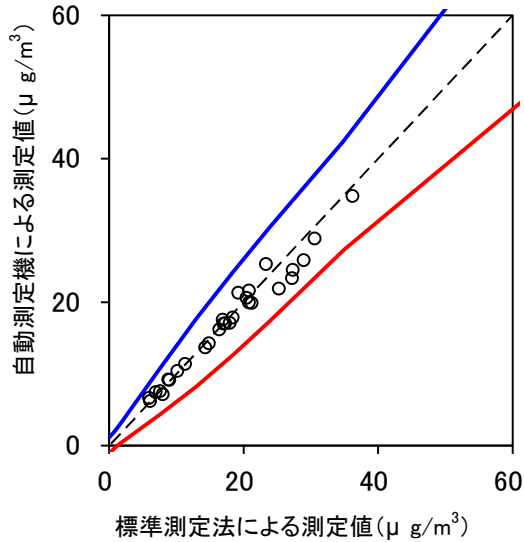
SHARP5030の非都市部(冬)における管理限界線との関係

D: フィールドごとにPRを固定する方法

(1) $\alpha = \alpha'_1$ の場合

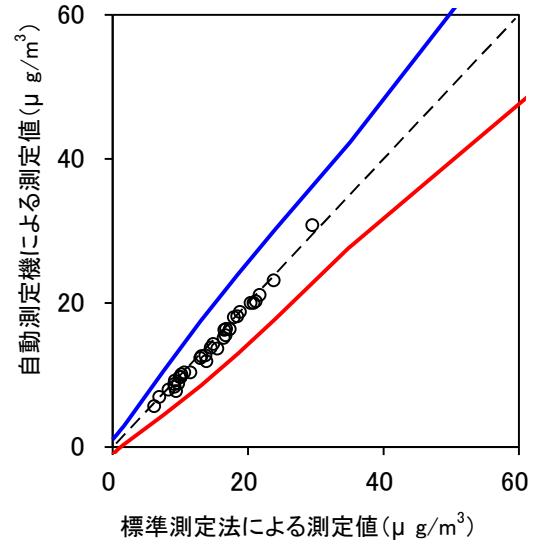
フィールドごとによる評価

機種名	SHARP5030・都市部(夏)
有効測定日数	37
自動測定機の有効データ数	29
ハズレ値の個数	0
r	3
K	2.184
傾き	0.90



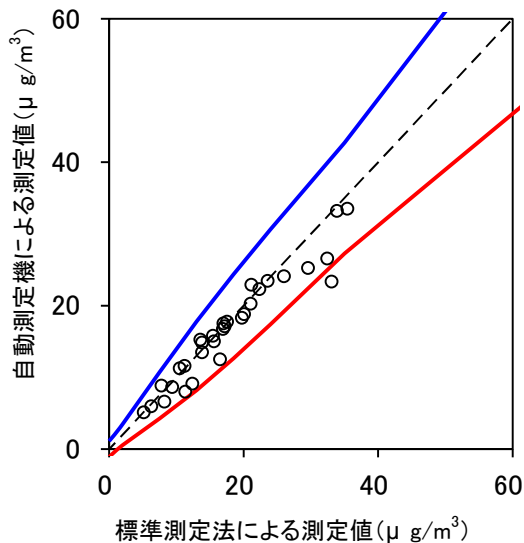
SHARP5030の都市部(夏)における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・非都市部(夏)
有効測定日数	35
自動測定機の有効データ数	34
ハズレ値の個数	0
r	4
K	2.070
傾き	1.02



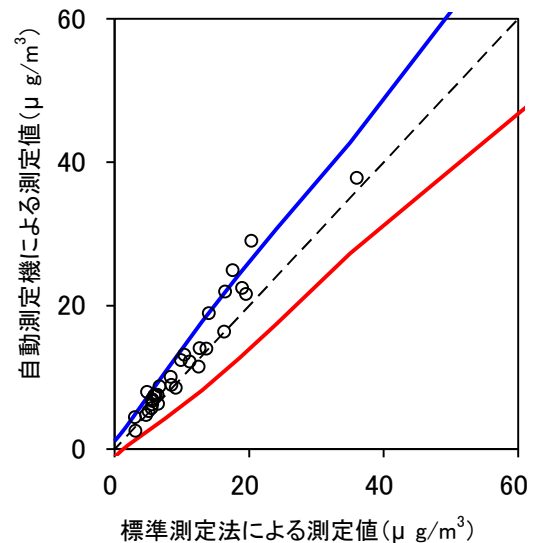
SHARP5030の非都市部(夏)における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・都市部(冬)
有効測定日数	36
自動測定機の有効データ数	31
ハズレ値の個数	1
r	3
K	2.208
傾き	0.86



SHARP5030の都市部(冬)における管理限界線との関係

機種名	SHARP5030・非都市部(冬)
有効測定日数	34
自動測定機の有効データ数	31
ハズレ値の個数	3
r	3
K	2.208
傾き	1.14

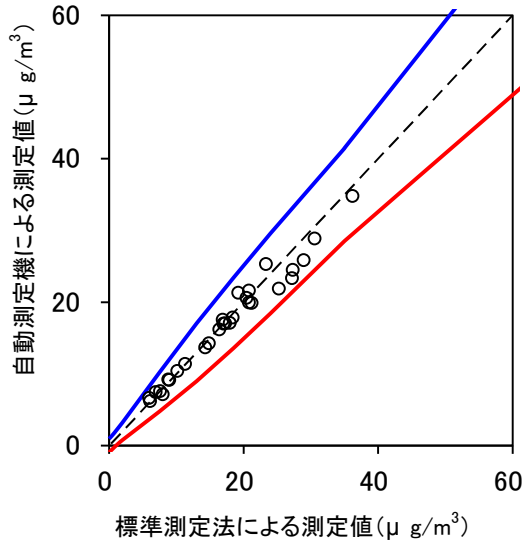


SHARP5030の非都市部(冬)における管理限界線との関係

(2) $\alpha = \alpha'_2$ の場合

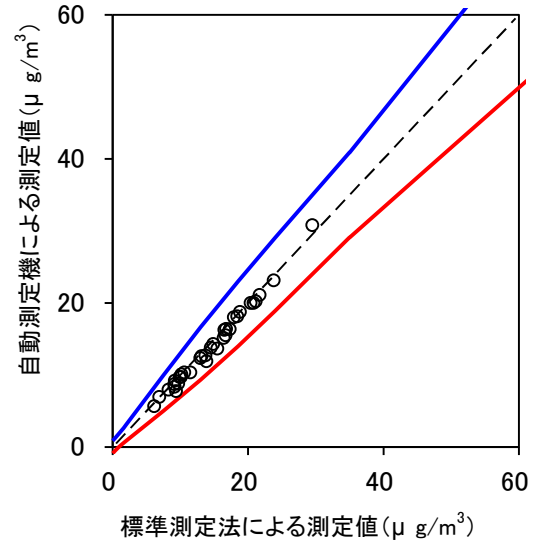
フィールドごとによる評価

機種名 SHARP5030・都市部(夏)	
有効測定日数	37
自動測定機の有効データ数	29
ハズレ値の個数	0
r	5
K	1.853
傾き	0.90



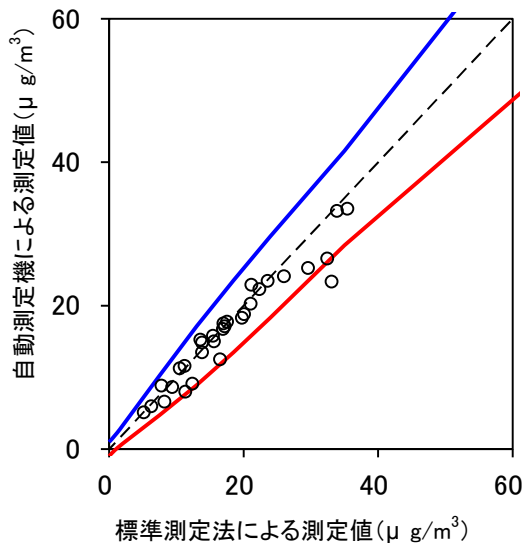
SHARP5030の都市部(夏)における管理限界線との関係

機種名 SHARP5030・非都市部(夏)	
有効測定日数	35
自動測定機の有効データ数	34
ハズレ値の個数	0
r	7
K	1.690
傾き	1.02



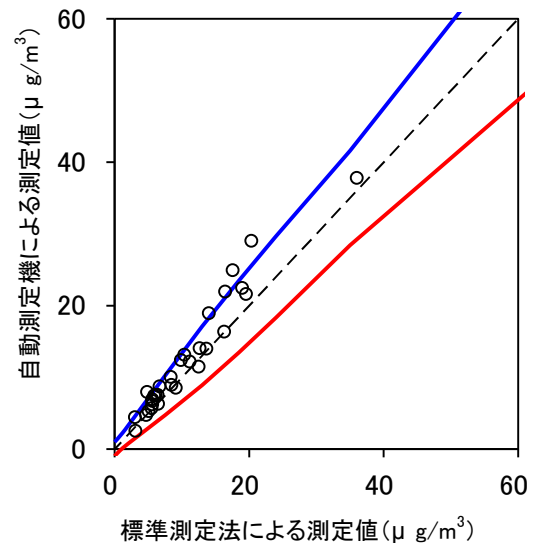
SHARP5030の非都市部(夏)における管理限界線との関係

機種名 SHARP5030・都市部(冬)	
有効測定日数	36
自動測定機の有効データ数	31
ハズレ値の個数	1
r	5
K	1.885
傾き	0.86



SHARP5030の都市部(冬)における管理限界線との関係

機種名 SHARP5030・非都市部(冬)	
有効測定日数	34
自動測定機の有効データ数	31
ハズレ値の個数	5
r	5
K	1.885
傾き	1.14



SHARP5030の非都市部(冬)における管理限界線との関係